

2025年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第9回講義

「核不拡散と特許制度」

経済産業省資源エネルギー庁国際原子力技術特別研究官

八木 雅浩 氏

科学技術の利活用には、法制度や国際的な取決めなど様々な制度で学術的な知見を支えるフレームワークが必要となります。機微な技術を含む原子力はその最たるものです。

今回の講義では、知財制度の不備により原子力機微情報が国外に拡散し国家安全保障に影響を与えかねなかった事例と、それを契機とした新制度設計の研究・取組を取上げます。

この講義を通じ、学術的な知見の安全な利活用のための制度設計（≡役人の仕事）の意義を感じいただけると幸いです。

日時：6月13日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面授業

八木 雅浩先生

群馬県出身。北海道大学工学部卒業、東京大学博士(工学)。

平成3年通商産業省入省。主にエネルギー、国際分野などに従事。原子力安全・保安院国際室長、国際原子力機関(IAEA)原子力エネルギー局原子力インフラストラクチャー課上級原子力技術官、北海道経済産業局資源エネルギー環境部長、国際原子力機関原子力エネルギー局廃止措置・環境修復課上級原子力技術官を経て、令和6年2月より現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授